

(新) 渡り鳥の飛来状況等に関する情報提供事業費

10百万円(0百万円)

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

1. 事業の概要

平成16年及び19年に我が国で発生した高病原性鳥インフルエンザは、発生した養鶏場等に大きな被害を与えた。これらの発生に関しては、渡り鳥等の野鳥がウイルスを伝播しているとの専門家等からの指摘を受けているが、渡り鳥の飛来状況については、渡来地や飛来時期等について、一部の地域で情報を収集しているものの、全国的な時期、種類、個体数等に関する情報が不足しているところである。

また、養鶏農家等から、国内での渡り鳥等野鳥の飛来状況が分かれば、野鳥の鶏舎への侵入防止対策等の防疫措置の強化が可能となることから、渡り鳥の飛来状況等に関するリアルタイムの情報提供が強く求められている。

このため、以下の事業を実施する。

(1) 渡り鳥に関する基本的な生息状況の整理

渡り鳥に関する地域別の飛来状況(飛来時期、渡来地、個体数、生息環境)を都道府県別に整理し、基礎的情報を整備する。

(2) 渡り鳥の飛来状況情報提供システム等の検討

全国の渡り鳥の飛来状況を各都道府県にリアルタイムで提供するシステム及びその体制について検討する。

(3) 「渡り鳥等野鳥の飛来状況等に関する情報提供システム」の整備

- (1) で整備した全国の渡り鳥の飛来状況に関する情報に基づき、
- (2) の検討を踏まえ、情報提供システムを作成する。

2. 事業計画

(1) 渡り鳥に関する基本的な生息状況の基礎的整理(平成20年度)

(2) 渡り鳥の飛来状況情報提供システムの検討(平成21年度)

(3) 「渡り鳥等野鳥の飛来状況等に関する情報提供システム」の整備
(平成20年度～22年度)

3. 施策の効果

渡り鳥の飛来状況等に関する情報をリアルタイムで提供することにより野鳥の鶏舎への侵入防止対策等の防疫措置の強化に貢献できる。

4. 備考

調査費 10,376千円

渡り鳥に関する基本的な生息状況の整理 10,376千円

渡り鳥の飛来状況等に関する情報提供事業

(1) 渡り鳥の生息状況の基本的な情報整理

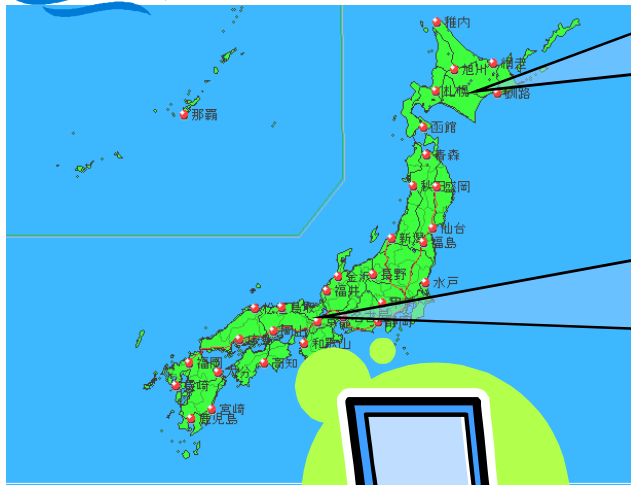
- ・ 飛来時期及び渡来地
- ・ 飛来している渡り鳥の個体数
- ・ 飛来している渡り鳥の種類
- ・ 生息環境 等

(2) 飛来情報提供システムの検討

- ・ 情報収集体制の構築
- ・ 提供する情報の内容
- ・ 情報提供システムの基本方針
- ・ システムの構築体制 等

(3) 「渡り鳥等野鳥の飛来状況に関する情報提供システム」の整備とその運用

システムイメージ

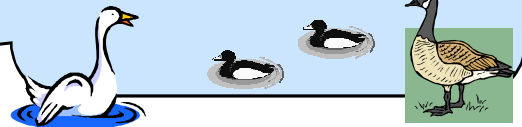


A湖 (H20.12月)

オオハクチョウ 10万羽

クロガモ 5万羽

(初飛来日 9月10日)



B湖 (H21.1月)

マガモ 10万羽

キンクロハジロ 5万羽

(初飛来日 10月15日)



野鳥の鶏舎への侵入防止対策等の防疫措置の強化

